

Miyazaki International College
Course Syllabus
Fall 2022

Course Title (Credits)	IDS308: コミュニケーションのための教育技術と教育機器 Educational Techniques & Technologies of Communication (3 Credits)
Course Designation for TC	教員の免許状取得のための必修科目 【科目】 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【各科目に含める必要事項】 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）
Content Teacher	
Instructor	アンデルソン パッソス（単独）
E-mail address	apassos@sky.miyazaki-mic.ac.jp
Office/Ext	学部長室
Office hours	月曜一金曜 14:00-16:00

Course Description:
<p>マルチメディア技術の進歩に伴い、教育及びビジネスの専門家らは言葉で表現するコミュニケーション技術と高度なオーディオ／ビジュアルメディアの効果的利用の融合が必要不可欠であると認識している。この授業で、学生は少数および多数の聴衆の前でプレゼンテーションを行うためのコミュニケーション能力を高め、聞き手がより理解できるように効果的なAV機器、プロジェクター、コンピューターの使用方法を学ぶ。日本の中等教育から示された問題をテーマとして扱っていくが、用いる手法と技術は学生の将来の様々な目標に役立つものとする。</p> <p>この授業で使用する言語は英語であり、英語で理解する時間を確保するため、通常より多くの時間を取っている。</p>
Course Objectives:
<p>全体目標： 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）では、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。</p> <p>(1)教育の方法論 一般目標：これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。</p> <p>到達目標： 1)教育方法の基礎的理論と実践を理解している。 2)これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方(主体的・対話的で深い学びの実現など)を理解している。 3)学級・児童及び生徒・教員・教室・教材など授業・保育を構成する基礎的な要件を理解している。 4)学習評価の基礎的な考え方を理解している。</p>

※幼稚園教諭は「育みたい資質・能力と幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方を理解している。」

(2)教育の技術

一般目標：

教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。

到達目標：

- 1) 話法・板書など、授業・保育を行う上での基礎的な技術を身に付けている。
- 2) 基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業・保育展開、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成することができる。

(3)情報機器及び教材の活用

一般目標：情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。

到達目標：

- 1) 子供たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。

※幼稚園教諭は「子供たちの興味・関心を高めたり学習内容をふりかえったりするために、幼児の体験との関連を考慮しながら情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。

- 2) 子供たちの情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するための指導法を理解している。

Teaching Methodology:

Course objectives will be achieved through a variety of active learning teaching strategies, including but not limited to:

Active Learning Teaching Strategy	Course Schedule
Interactive lectures with note taking	All classes
Journals	Regular homework
Pair & Group work	Almost every lesson
Peer teaching	Project 1 and 2 (lesson/activity preparation)
Written Peer Review of Written Work	Most homework assignments
Pause for Reflection	All classes
Active Listening	All classes
Close Reading	Lessons
Cooperative Student Projects	Final Project
Student-Created Assessment Criteria	Course rubric developed by students

Course Schedule			
Day	Topic	Content/Activities	MEXT Objectives
1	導入	教育の現場（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）における教育技術・機器について。	
2		学校における教育技術・機器のケーススタディー：学生は中学校・高等学校で実際に利用されている教育機器・技術について学ぶ（生徒活動の把握、コンピューターの画面共有、プロジェクター、プレゼンテーション等）	
3	学習支援	指導について ・学習支援 ・なぜ様々な教育方法と技術が必要であるかを理解する	(1) - 1 (1) - 2
4		教育目標 ・教育目標を設定する ・評価、学習活動、授業計画について	(1) - 1 (1) - 2
5	学力の分類	・教育の現場における同じ技術を利用する様々な方法 ・教育成果の分類	
6		・生徒の学び方の区分 ・技術を利用した「知識」と「理解」の区分	(1) - 2
7	教室文化と学習規律	・教室と教室の雰囲気について ・同じ授業計画で異なる学習成果が得られる事への理解	(1) - 3
8		・協働学習 ・授業計画における学習過程の優先順位	(1) - 3
9	教授方法	・内省的学習とは；内省的学習の理解と授業計画への組み込みについて	(1) - 2
10		・生徒の学習過程における気付き（発見）について ・生徒へのフィードバック方法について	(1) - 3
11		・授業計画の調整 ・授業において学力の異なる生徒への対処について	(1) - 3
12		・カリキュラム設定方法と自己調整方法の比較について	
13	教授能力	技術についての説明について ・技術用語（専門用語） ・具体的な言葉での技術解説 ・図形表現	(2) - 1
14		教室における教育機器・技術の理論と実践 ・教育機器・技術を利用した発問の促進 ・授業外学習における教育機器・技術を利用した学習の促進	(2) - 1

15	ICT を用いた教授法	ICT ガイダンス ・ ICT の必要性 ・ ICT 活用能力の促進	(2) - 1 (3) - 1 (3) - 2
16		ICT 活用効果の理解 ・ 教育機器・技術の学習への影響について ・ ICT 活用を通じた、児童・生徒の理解の深化について	(2) - 1 (3) - 1 (3) - 2
17		・ 電子黒板や書画カメラを用いた授業実践の理解	(2) - 1 (3) - 1 (3) - 2
18		・ 特別な支援(発達障害など)を必要とする児童・生徒への ICT を利用した支援について	
19	評価と学習について	・ 教育評価の重要性についての理解	
20		・ 指導と評価の一体化 ・ 異なる評価基準の理解(相対評価、絶対評価、個人評価)	(1) - 1 (1) - 4
21		・ 評価主体の理解(他者評価、自己評価、相互評価)	
22		・ 評価時期の理解(診断的評価、形式的評価、総括的評価)	
23		・ 他の評価方法の理解(パフォーマンス評価など)	
24	学習指導案の作成	・ 授業計画作成の準備	(2) - 2
25		シラバス作成 ・ 目標とコンテンツ ・ 教具 ・ 授業内容 ・ 学習形態 ・ 評価基準	(2) - 2
26	教室運営	記録について ・ 成績 ・ 出欠簿 ・ 授業内外の活動について	(1) - 4
27	テスト作成	・ コース目標から設定されたテスト問題 ・ 自由回答形式問題と選択式問題	(1) - 1 (1) - 4
28		・ テストにおける妥当性と信頼性 ・ 復習と答え合わせ	(1) - 1 (1) - 4
29		・ テスト結果のフィードバック ・ モチベーションツールとしてテスト	(1) - 1 (1) - 4
30	まとめ	・ 期末試験へ向けてのレビュー	
	期末試験		

Required Materials:

テキスト：アクティビティシートなどの必要な資料は配布、またはクラスウェブサイトからダウンロードする。

参考書：中学校学習指導要領（最新版）（文部科学省）、高等学校学習指導要領（最新版）（文部科学省）

- ・ 2 穴式バインダー
- ・ イヤホン

Course Policies (Attendance, etc.)

学生の責任

クラスの一員として、全てのクラスに時間通りに参加すること、積極的な授業への参加、宿題の完成と提出に責任があります。

出席と遅刻

- ・ 最大 5 回まで欠席が許容されます。
- ・ 20 分以上の遅刻は、欠席とみなします。
- ・ 2 回の遅刻で 1 回の欠席とみなします。

5 回の欠席をした（4 回の欠席と 3 回の遅刻など）場合は、授業の辞退をしなければならない。さもなければ、F（不可）の成績が付きます。

Class Preparation and Review

学生は、1 時間の授業に対して 1 時間の事前・事後学習が求められます。授業後に必ずノートの復習をすること、学んだことを理解すること。教員は、授業外でもサポートします（シラバスのオフィスアワーを確認して下さい）。

ほとんどの授業ごとに課題が出されます。必ず次の授業に行く前に終わらせ、また授業前に授業内容と活動について確認しておくこと。

Grades and Grading Standards

課題 20%

プロジェクト 30%

クイズと試験 20%

期末試験 30%

Methods of Feedback:

課題は、提出後一週間以内に評価されます。授業内において追加説明やフィードバックがなされますが、更なる説明が必要な場合はオフィスアワーに教員のオフィスを訪ねてください。

テストはルーブリックを利用して採点されます。ルーブリックはテスト期間中に示され、説明がなされます。学生は、テストが始まる前にわからない部分について教員に質問すること。

授業参加とは、教員の質問に答えるだけでなく、質問することも求められます。


Diploma Policy Objectives:

本講義は、国際教養学部のディプロマ・ポリシーに掲げる

1. クリティカル・シンキング（批判的・分析的思考法）をベースにした高度な思考（比較、分析、総合、評価）能力を身につけている。

3. 課題発見及び問題解決能力を身につけている。
 4. 日英両語における高度なコミュニケーション能力を身につけている。
 5. 情報技術活用能力を身につけている。
- を育成する科目として配置している。

Notes:

<p>文部科学省から採択された 大学教育再生加速プログラム</p> 		Advanced	Proficient	Developing	Emerging	No Attempt
Critical Thinking	Ability to Identify & Solve Problems	<p>Insightful comments in class discussions Student shows proven ability to analyze data, gather and assess resources, and disseminate opinions in a scholarly manner.</p>	<p>Able to contribute to class discussions, and to perform a basic analysis of data, gather and assess resources, and express opinions in an adequate manner.</p>	<p>Beginning to visualize the ways in which information can be combined and applied to solving a given problem, but struggles with complex and relationships</p>	<p>Student shows motivation but must learn the concepts and mechanisms that apply to critical thinking, such as information gathering, assessment and synthesis</p>	
	Information Gathering					
	Assessment of Credibility					
	Social Skills					
	Professional Skills					
Global Perspectives	Cultural Relevancy	<p>Fully engaged in current events and shows and understanding of social inequalities and cultural differences.</p>	<p>Student is aware of current events and world cultures, but is unable to apply macro-level situations to her/his own life.</p>	<p>Exhibits interest and intrigue in current events and world culture, but has difficulty understanding relevancy.</p>	<p>Student expresses one-sided ideals from an ethnocentric point of view. Completely lacks awareness of world issues or events.</p>	<p>Insufficient effort or evidence of achievement</p>
	Awareness of Current Events & Global Issues					
English Language Ability	Reading	<p>Exhibits fluency/near fluency in speaking and writing. Grammar and reading ability similar to native English speaker. Able to use context clues when faced with unfamiliar vocabulary.</p>	<p>Proficient English ability; relies mainly on familiar vocabulary. Should be encouraged to advance beyond comfort zone.</p>	<p>Adequate English ability; must reference dictionary often</p>	<p>Student has some English ability, but lacks confidence in using and understanding. Very limited vocabulary knowledge, struggles with grammar and pronunciation Unable to form questions</p>	
	Writing					
	Oral Communication					
	Writing					
	Oral Communication					